

# Wealth Growth (2025年7月) 月間運用実績をご報告

## 【7月のパフォーマンス】

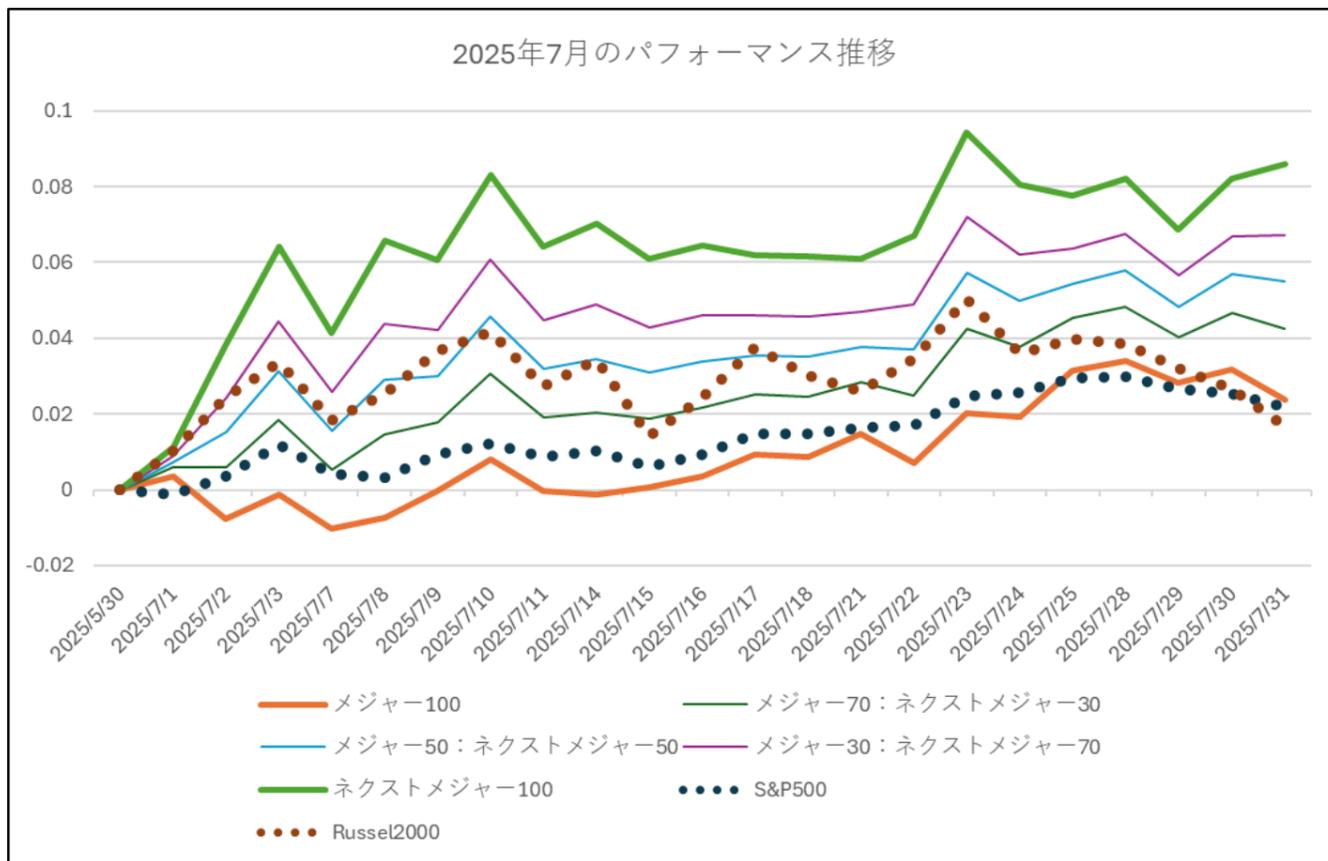
### ・ファンドの月間パフォーマンス

メジャー100 : +2.39 %  
ネクストメジャー100 : +8.59 %

### ・各指標の月間騰落率

S&P 500 : +2.17 %  
Russel2000 : +1.67 %  
NASDAQ : +3.70 %  
NYダウ : +0.08 %

### ・運用コース毎のパフォーマンス



順位	戦略名	月間パフォーマンス	ベンチマーク	ベンチマーク比
1位	ネクストメジャー100	8.59%	Russel2000	6.92%
2位	メジャー30:ネクストメジャー70	6.73%	S&P500 (30%) Russel2000 (70%)	4.91%
3位	メジャー50:ネクストメジャー50	5.49%	S&P500 (50%) Russel2000 (50%)	3.57%
4位	メジャー70:ネクストメジャー30	4.25%	S&P500 (70%) Russel2000 (30%)	2.23%
5位	メジャー100	2.39%	S&P500	0.22%
	全戦略平均	5.49%		3.57%

※各戦略のベンチマークについて

メジャー100のベンチマークはS&P500、ネクストメジャー100のベンチマークはRussel2000

合成戦略は保有比率でベンチマークを合成したもの

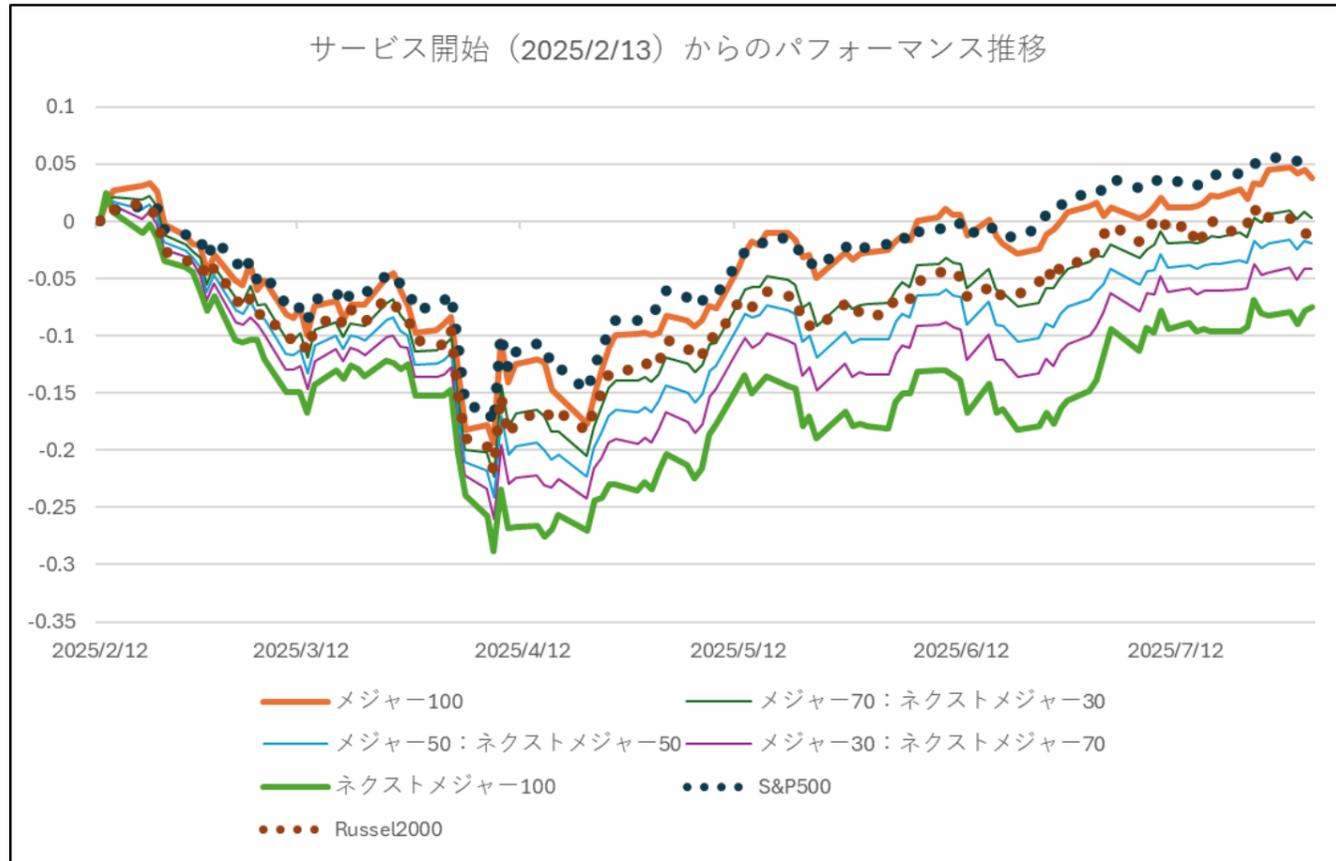
※上記は過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。また、買付手数料・運用手数料・税金・売買コスト等は含まれておりません

※実際にお客様へご提供したモデルポートフォリオをもとに、配当込みリターンを用いて算出しています

Wealth Growth (ウェルスグロース) で最も月間成績が良かった戦略は、「ネクストメジャー100」でした。月間で+8.59%、対ベンチマーク比では+6.92%となり、ベンチマークを大幅にアウトパフォーム!!

・設定来のパフォーマンス推移グラフ

WealthGrowth（ウェルスグロース）の2025年2月13日（サービス開始）から2025年7月末までの運用実績です。



※上記は過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。また、買付手数料・運用手数料・税金・売買コスト等は含まれておりません  
 ※実際にお客様へご提供したモデルポートフォリオをもとに、配当込みリターンを用いて算出しています

・設定来の騰落率

	過去1カ月	過去3カ月	過去6カ月	過去1年	設定来
メジャー100	2.39%	15.19%	-	-	3.72%
ネクストメジャー100	8.59%	20.68%	-	-	-7.53%
S&P500	2.17%	13.83%	-	-	4.75%
Russel2000	1.67%	12.59%	-	-	-1.89%

【7月の市況概況】

米国市場

7月の米国株式市場は、トランプ政権による関税政策の展開、FRBの金融政策スタンスの不透明感、そしてAI関連企業の堅調な業績期待が複雑に絡み合い、主要指数は度々史上最高値を更新する堅調な推移を見せました。

・第1週（ダウ平均：+2.30%、S&P 500：+1.72%、NASDAQ：+1.62%）

カナダとの関税交渉進展が好感され、NYダウ、ナスダック、S&P 500の主要3指数が揃って上昇し、ナスダックとS&P 500は過去最高値を更新しました。メタの高度AI開発チーム立ち上げや、オラクルのクラウドサービス契約締結といったハイテク企業の動向が株価を押し上げました。

・第2週（ダウ平均：-1.02%、S&P 500：-0.31%、ナスダック：-0.08%）

トランプ大統領が日本への追加関税を示唆し貿易摩擦への警戒感が再燃する中、ベトナムとの関税交渉合意が市場の支援材料となりました。6月ISM製造業景況指数は低迷を示唆しましたが、JOLTS求人数の堅調さから労働市場の強さは維持されました。

・第3週（ダウ平均：-0.07%、S&P 500：+0.59%、ナスダック：+1.51%）

トランプ大統領がEUとメキシコに30%の追加関税を課す方針を発表し市場に警戒感が広がったものの、ナスダックは再び史上最高値を更新しました。6月消費者物価指数（CPI）は伸びが加速しましたが、市場予想の範囲内にとどまり、関税の影響はまだ顕著ではありませんでした。しかし、

FRBのページブックでは「関税」の言及が頻繁に見られ、企業がコスト転嫁に苦悩する実態が示唆されました。

・第4週 (ダウ平均： +1.26 %、S&P 500： +1.46 %、ナスダック： +1.02 %)

米欧間で相互関税を15%に引き下げることで合意したとの観測が広がり、S&P 500が5日連続で史上最高値を更新する堅調な展開となりました。アルファベットの好決算がAI関連銘柄を牽引し、半導体株も引き続き市場を支えました。一方で、テスラの販売台数減少やGMの関税コストによる減益が個別銘柄を圧迫する場面も見られました。

・第5週 (ダウ平均： -1.72 %、S&P 500： -0.77 %、ナスダック： +0.07 %)

FOMCを控え様子見ムードが広がる中、ユナイテッドヘルスやメルクなどの決算が市場予想を下回り、主要3指数が揃って下落しました。7月30日のFOMCでは政策金利据え置きが決定されましたが、トランプ大統領はパウエル議長を「負け犬」と強く非難し、引き続き利下げ圧力を強めるなか、7月の雇用統計は非農業部門雇用者数が予想を大幅に下回ったことから、市場では9月利下げ期待が急上昇しました。

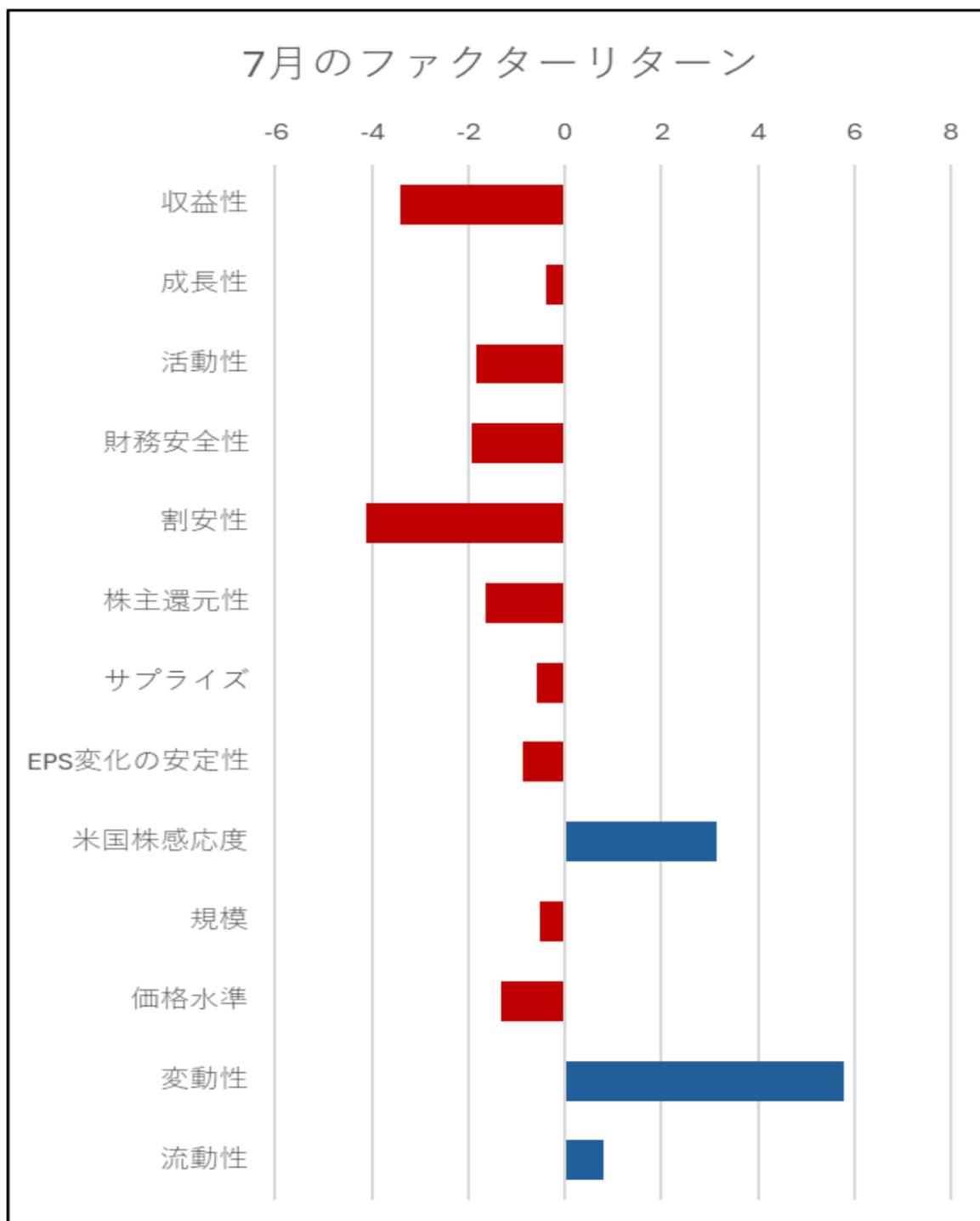
## 【月間パフォーマンスの背景】

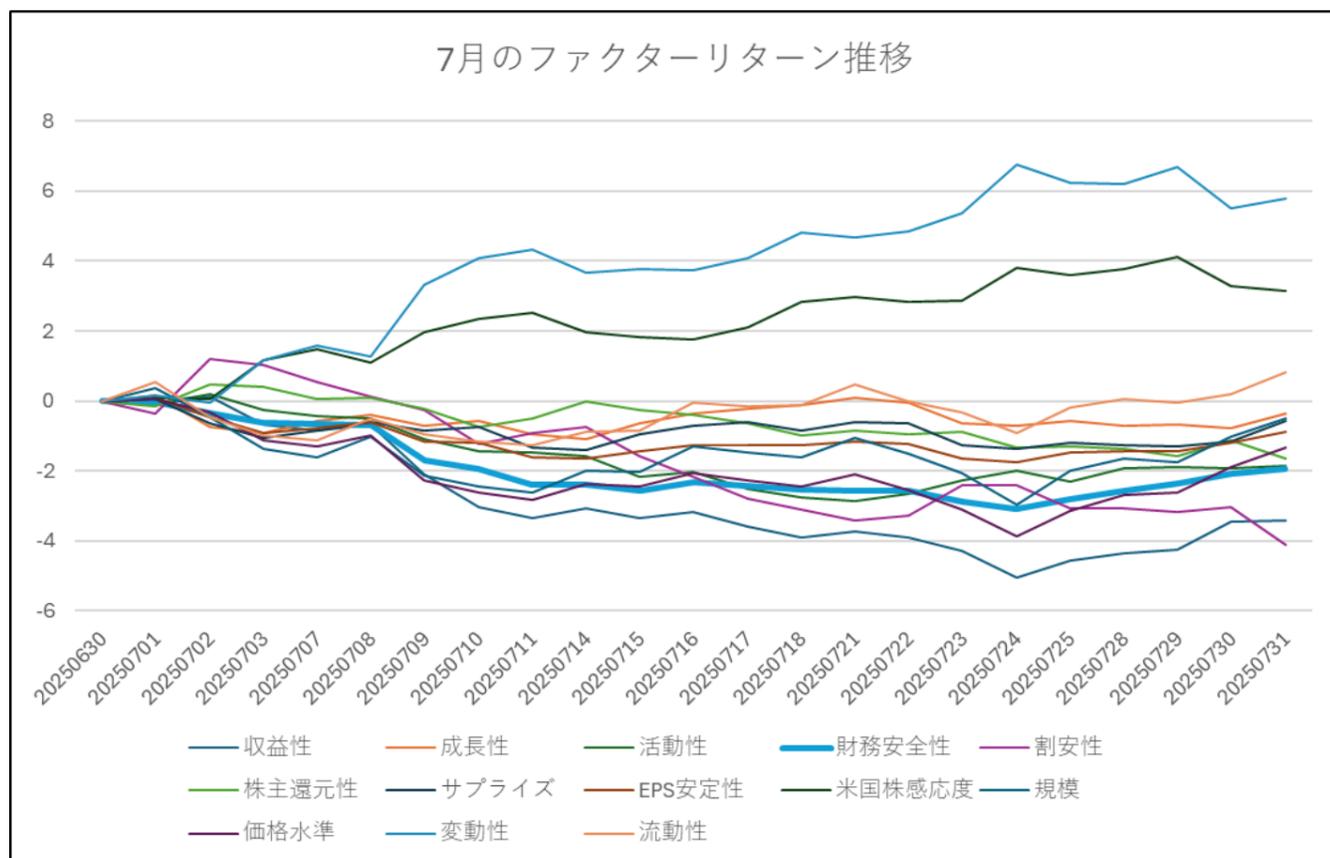
### ・ファクター動向

7月は、ハイリスクの低位小型が堅調となりました。

ファクターリターンの推移を見ても、変動性ファクター・米国株感応度ファクターがプラスとなる一方、株価水準ファクター・規模ファクターがマイナスとなり、

トランプ政権と各国との関税交渉が次々とまとまるなか、これまでのリスクオフからリスクオンへ市場の雰囲気急転換し、さらに、利下げ期待の高まりもあり、これまで警戒されていたハイリスクの低位小型株へ資金が向かったことがみとれます。





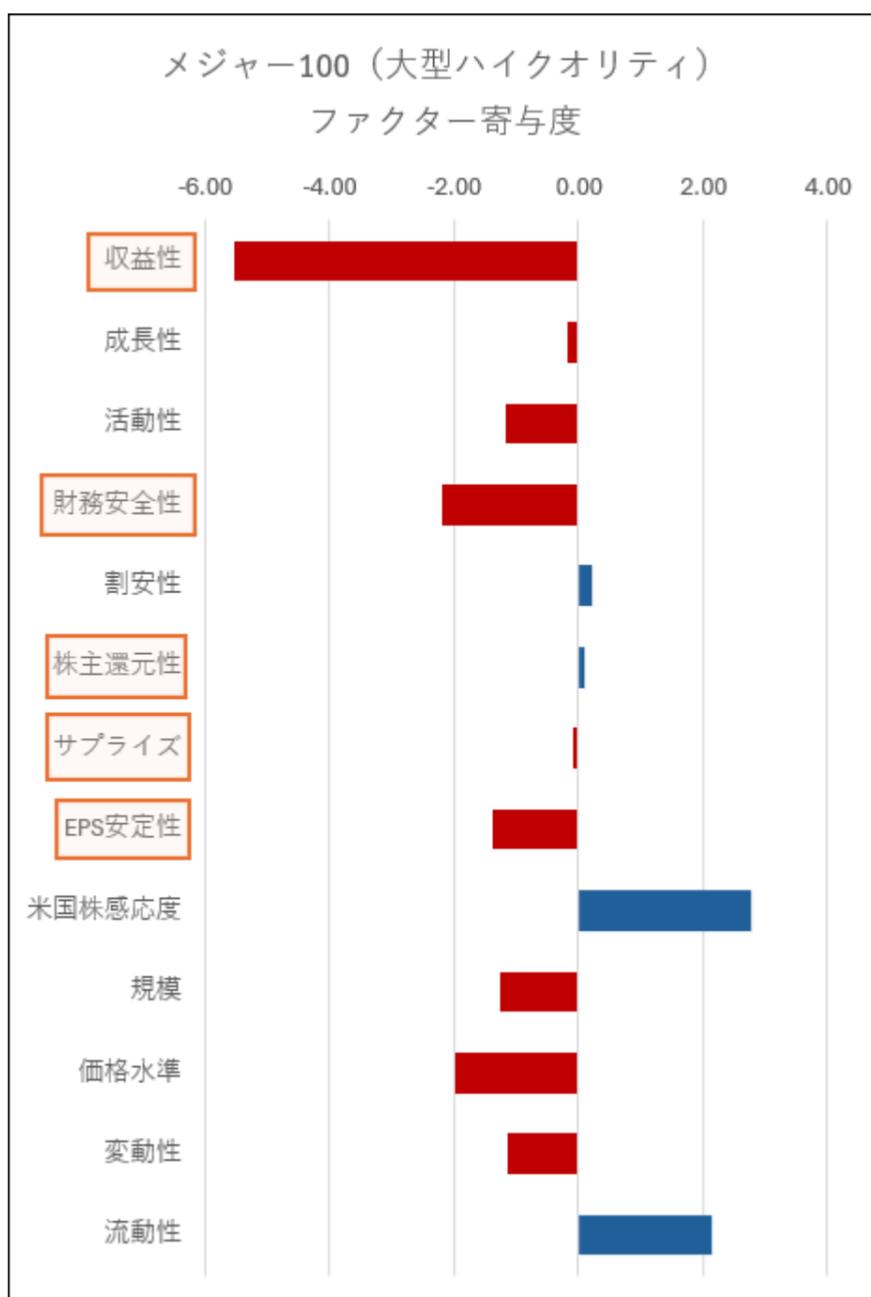
#### ・ファクター寄与度

その様な市況環境のなか、

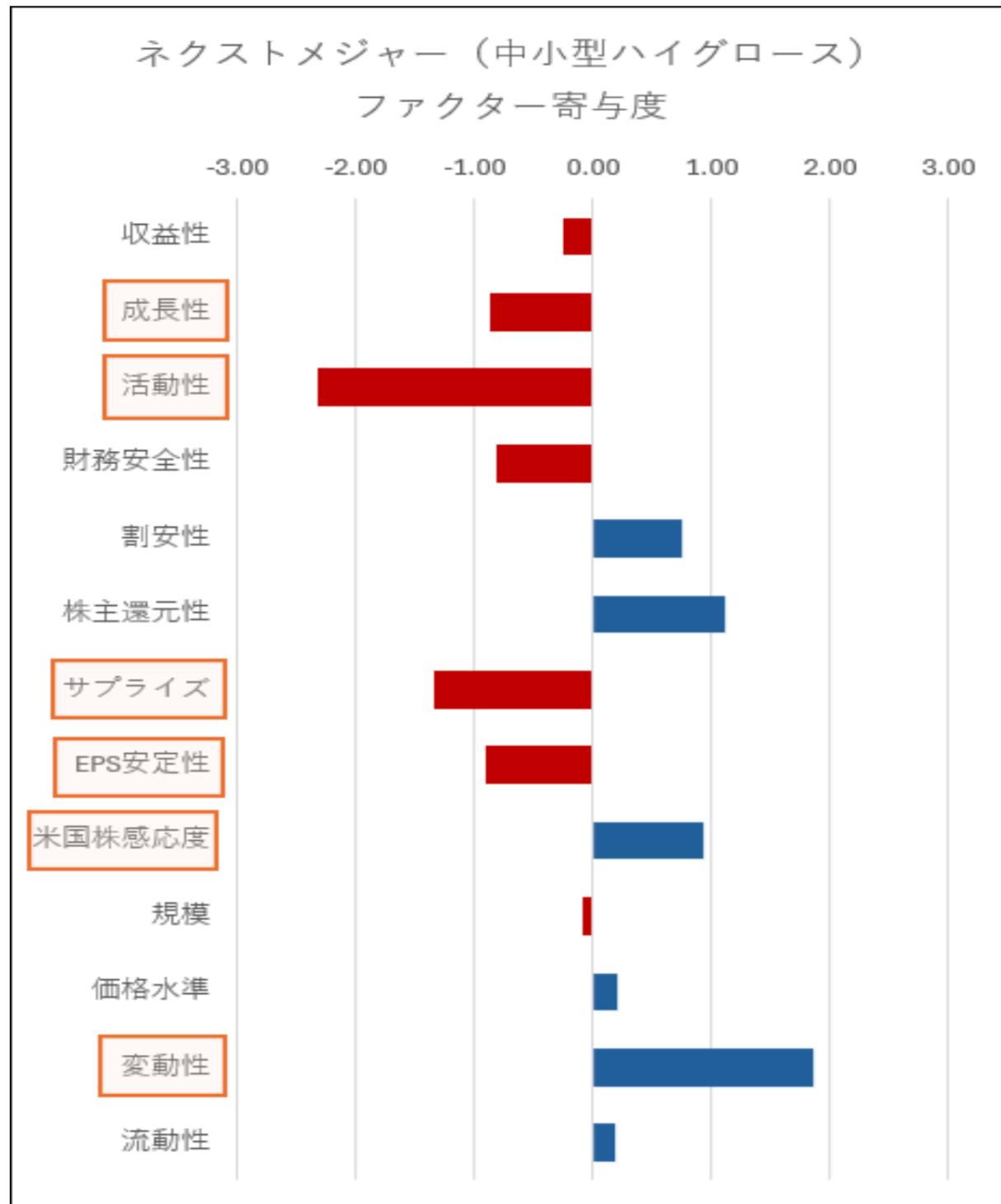
Wealth Growth（ウェルスグロース）がご提供している全ての戦略がプラスとなり、全戦略がベンチマークを大幅にアウトパフォームする結果となりました。

メジャー100（大型ハイクオリティ）がS&P500をアウトパフォームした要因は、

メジャー100の特徴であるハイクオリティ特性「高財務安全性・高EPS安定性・高収益性」が7月はマイナスに寄与しましたが、ポートフォリオの組み入れ上位にあるAI関連企業の大幅な上昇が大きく寄与したことです。



ネクストメジャー100（中小型ハイグロース）がRussel2000を大幅にアウトパフォームした要因は、ネクストメジャー100ポートフォリオの特徴であるハイ・グロース特性のなかの「高変動性（=ハイリスク）高米国株感応度（=ハイベータ）」が大きくプラスに寄与、また、ハイリスクの低位小型株が市場全体でも選好されたことで、さらに、プラスを大きくしたことです。



・個別銘柄寄与度

「メジャー（大型ハイクオリティ）」

① 寄与度上位5銘柄

No	Tiker	銘柄名	組入比率	寄与度	会社概要
1	NVDA	NVIDIA CORP	10.0%	1.28%	エヌビディア社は、コンピュータグラフィックスプロセッサ、チップセット、および関連するマルチメディアソフトウェアの設計および製造を行っています。本社はカリフォルニア州サンタクララにあり、現在36,000人の正社員を雇用しています。AIチップへの強い需要、好調な決算報告、主要顧客によるAIへの投資増加は、すべて同社にとって好材料であり、関税や競争など懸念事項もありますが、好材料の方が優勢と見られています。

2	GOOGL	ALPHABET INC-A	10.0%	0.87%	アルファベット社は、ソフトウェア、ヘルスケア、輸送、その他のテクノロジーを扱う持株会社です。本社はカリフォルニア州マウンテンビューにあり、現在183,323人の正社員を雇用しています。直近の決算ではAIニシアチブにおいて継続的な進展を示し、また、同社はデジタル著作権管理市場の成長から恩恵を受ける立場にあります。OpenAIからの潜在的な競争や規制当局の監視など、いくつかの懸念事項があるも、全体的な見通しは依然としてポジティブと見られています。
---	-------	-------------------	-------	-------	---

No	Tiker	銘柄名	組入 比率	寄与 度	会社概要
3	PLTR	PALANTIR TECHNO	8.0%	0.79%	パランティア・テクノロジーズ社は、顧客の中核となるオペレーティングシステムとして機能するソフトウェアプラットフォームの構築と展開を事業としています。本社はコロラド州デンバーにあり、現在3,936人の正社員を雇用しています。近年力強い成長を見せており、AI業界でトップクラスの地位を確立しています。同社は強固な財務基盤を有し、堅実な政府契約から恩恵を受けています。バリュエーションと競争に関する懸念事項はあるものの、同社の全体的な見通しは良好と見られています。
4	UAL	UNITED AIRLINES	4.5%	0.63%	ユナイテッド・エアラインズ・ホールディングス社は、輸送サービスを提供するホールディングカンパニーです。本社はイリノイ州シカゴにあり、現在10万9200人の正社員を雇用しています。ジェットブルーとのBlue Skyコラボレーションの成功は、長期的に顧客ロイヤルティと収益の流れを促進する可能性のある重要なプラス材料です。最近の株価上昇とアナリストの肯定的なセンチメントも、堅調な基礎的要因を示唆していると見られています。
5	ANET	ARISTA NETWORKS	3.5%	0.59%	アリスタネットワークス社は、クラウドネットワークングソリューションの開発、マーケティング、販売を行っています。本社はカリフォルニア州サンタクララにあり、現在4,412人の正社員を雇用しています。AI最適化ネットワークソリューションに対する強い需要、高い成長実績、そして機能強化をもたらす最近の買収など、ポジティブな展開を見せています。

「ネクストメジャー（中小型ハイグロース）」

① 寄与度上位5銘柄

No	Tiker	銘柄名	組み入れ比率	寄与度	会社概要
1	METC	RAMACO RESOURCES	6.0%	3.87%	ラマコ・リソーシズ社は、石炭鉱山の操業と開発に従事しています。同社はケンタッキー州レキシントンに本社を置き、現在984人の正社員を雇用しています。ブルック鉱山に関する完全な独立予備経済評価の公開や、ブルック鉱山に対する2回目の5年間の鉱山許可の承認など、肯定的な展開がありました。
2	XPOF	XPONENTIAL FITS	5.0%	2.18%	エクスポネンシャル・フィットネス社は、複数の業種にわたるプティックフィットネスブランドのキュレーターです。同社はカリフォルニア州アーバインに本社を置き、現在288人の正社員を雇用しています。戦略的な再編の一環として、CycleBarとRumbleをExtraordinary Brands, LLCに売却、また、フランチャイズ不動産を専門とする一流の商業不動産会社であるMorrow Hillと独占的なパートナーシップを結ぶなどポジティブな展開を見せています。
3	DOMO	DOMO INC	10.0%	1.95%	ドモ社は、経営幹部向けソフトウェアソリューションの設計、開発、および販売を行っています。本社はユタ州アメリカンフォークにあり、現在888人のフルタイム従業員を雇用しています。アナリストからの好意的な格付けを受けており、強力なモメンタムと将来の成長の可能性を示しています。また、同社の高い機関投資家保有率も、投資家コミュニティからの大きな支持を示唆しておりポジティブな展開を見せています。
4	RSI	RUSH STREET	5.0%	1.50%	ラッシュストリート・インタラクティブ社は、規制されたオンラインゲームサイトの開発、供給、運営を行っています。同社はイリノイ州シカゴに本社を置き、現在883人の正社員を雇用しています。同社の最近の予想上回る決算とガイダンスの引き上げは、今後数四半期にわたる持続的な成長に向けて良好な位置にいると見られています。
5	WEST	WESTROCK COFFEE	6.0%	0.99%	ウェストロックコーヒー社は、コーヒー、紅茶、抽出製品の製造を行っています。同社はアーカンソー州リトルロックに本社を置き、現在1408人の正社員を雇用しています。生産能力の拡大と今後の決算発表により、成長の兆候があると見られています。

## 【Wealth Growth 戦略の目的・特色】

---

### 1. 目的

予測が困難な市場構造の変化（金利・為替などの外部要因）の影響を極力排除し、S&P500を凌駕するパフォーマンスを目指します

### 2. 戦略の特色

特色1：市場構造の予測を必要としない、全てのレジームで機能する汎用性の高いマルチファクターモデルによるクオンツ運用を行います

特色2：ニューヨーク証券取引所及びNASDAQに上場する約5,000銘柄の詳細な市場及び財務データを活用します

特色3：銘柄選択において、大型株（Major）では「高収益性」「高EPS安定性」「高財務安全性」「高株主還元性（=高配当）」「高サプライズ（=好業績）」によるハイ・クオリティ特性のモデルを活用、中小型株（Next Major）では「高成長性」「高活動性（=高い総資本回転率）」「高サプライズ（=好業績）」「高米国株感応度（=ハイベータ）」によるハイ・グロース特性のモデルを活用します。

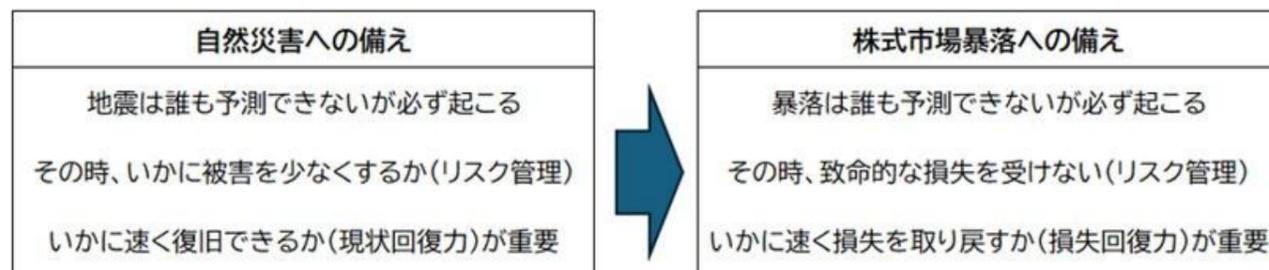
特色4：組入れ銘柄数は20～25銘柄程度の集中投資、業種分散は市場構成比並みとし、リスクはS&P500±10%程度となるよう毎月リスク調整のリバランスを行います。

### 3. 戦略のコンセプト

・ **Wealth Growth（ウェルス グロース）のコンセプトは、誰もできない将来の予測よりも、**

---

「リスク管理と損失回復力を重視した運用で資産を成長させる」ことにあります。



・ **損失の回復力が運用にとって極めて重要な理由は、**

---

「損失よりも、利益が大きい投資」を続けていれば、いずれ利益が損失を上回る確率が高い運用となるためです。

## ・回復力を示す運用指標ソルティノ・レシオ※を最大化

ソルティノ・レシオの最大化のために、AIにファクターの組み合わせを見つけ出させた結果、下記が、市況の予測を必要とせず、全ての市況で機能することが分かりました。※ソルティノ・レシオとは、リターンの方リスクのみの標準偏差を利用し損失のみに注目して効率を評価する尺度です。計算式は、年率換算リターン/年率換算下方リスク。

### ① 大型株 (Major)

「高収益」×「EPS安定」×「財務健全」×「高配当」×「好業績」といった、ハイ・クオリティ特性あるファクターを選択し、本質的に価値の高いハイ・クオリティ銘柄群に投資します。

### ② 中小型株 (Next Major)

「高成長」×「高活動」×「好業績」×「ハイベータ」といった、ハイ・グロース特性あるファクターを選択し、成長性の高いハイ・グロース銘柄群に投資します。

## 3. ファクターの説明

Wealth Growth (ウェルス グロース) は、ファクターに基づく運用を行っており、ファクターは以下を採用しています。

	ファクター	代表的ファクター構成指標
1	収益性	売上高営業利益率、ROE、ROA、等
2	成長性	売上高成長率、経常利益成長率、等
3	活動性	総資本回転率、等
4	財務安全性	財務レバレッジ、CF負債比、等
5	割安性	経常利益株価比、自己資本株価比、等
6	株主還元性	配当利回り、等
7	サプライズ	経常利益修正率、等
8	EPS安定性	1年EPS変化の安定性、等
9	米国株感応度	米国株感応度60日間、等
10	規模	上場時価総額、等
11	価格水準	株価、等
12	騰落率	60日騰落率、等
13	変動性	ヒストリカルボラティリティ60日、等
14	流動性	売買代金20日平均、等

#### 4. リスク管理

Wealth Growth（ウェルス グロース）は、回復力が高いポートフォリオを構築する際の最適化条件として、

- ① 銘柄数を、20～25銘柄としています
- ② 1銘柄、10%以上保有しないようにしています
- ③ 特定業種に偏重しないようにしています、
- ④ 上記の様な、十分なリスク分散を考慮した上で、損失回復力が最大となるよう、AIによる最適化を行っています。
- ⑤ また、エクスポージャーを監視し、ポートフォリオのリスク特性を維持するよう、定期的に関数リバランスを行いリスク管理を行っています

※本レポートは、2025年8月5日時点の情報に基づき作成されております。

（提供：株式会社スマートプラス）

## ご留意事項

投資一任運用サービス WEALTH GROWTH(ウェルスグロース)

### 免責事項

「WEALTH GROWTH」は、株式会社スマートプラスが提供する投資一任運用サービスです。Jトラストグローバル証券株式会社は「WEALTH GROWTH」の業務委託先として、お客様と株式会社スマートプラスとで交わす投資一任契約締結の媒介を行っております。「WEALTH GROWTH」へのお申込、契約、お取引に関するお客様の情報に関して、株式会社スマートプラスより当社は媒介業務の範囲で業務委託先として個人情報の共有を受けております。

#### <業務内容について>

Jトラストグローバル証券株式会社は、本サービスにおける株式会社スマートプラスとお客様との間の投資一任契約の締結に係る媒介を行う役割を担い、以下の業務を行います。株式会社スマートプラスは、投資運用業を行う役割を担い、以下の業務を行います。

#### 【Jトラストグローバル証券株式会社】

- 対面または電話等による投資一任契約等および投資一任サービスの内容の説明や契約締結の媒介に係る勧誘
- 口座開設画面や投資一任運用サービス画面への誘導・操作の案内
- 入金状況・取引状況に関するお客さまから照会への対応
- 株式会社スマートプラスからお客さまに提供される各種報告書等に関するお客さまからの照会への対応
- 株式会社スマートプラスから提供されると投資一任運用サービスに係るシステム等を經由して取得可能な情報に基づくお客さまからの照会等への対応（入金日、取引日、個別銘柄の売買内容等）
- 投資一任運用サービスに基づきお客さまに提供されるポートフォリオのパフォーマンス、組入銘柄の内容やパフォーマンス等に関する客観的な情報等の提供

#### 【株式会社スマートプラス】

- 投資一任契約の説明および締結（契約締結前書面、契約締結時書面の交付）
- 入出金に係る手続き
- 投資一任運用サービスに係る運用ポートフォリオの構築・リバランスに係る売買の執行
- 取引および残高に係る報告および運用に係る報告

## 重要事項

#### <手数料など諸費用について>

本サービスをお客様が利用するに当たり、以下の手数料を負担していただきます。詳細は、手数料および契約締結前交付書面にてご確認ください。

- 購入時手数料（運用コース増額申込時に、増額金額に対して負担していただく費用です。投資環境の説明や情報提供等、ならびに契約締結に必要な事務コストの対価としてお支払いいただく費用となり、業務委託を行っている場合、株式会社スマートプラスから業務委託先に支払う費用が含まれます。）
- サービス利用料（運用資産の時価評価額に対し負担していただく費用です。ポートフォリオのリバランス（銘柄の入れ替え等）、各種レポートや報告書の作成等、およびシステム運営等に必要なコストの対価としてお支払いいただく費用となります。）

#### <投資一任契約（ウェルスグロース）に係るリスクについて>

本サービスにおける投資一任契約に基づく運用は、値動きのある有価証券（米国株式の個別銘柄）を投資対象としているため、当該有価証券の上場市場における取引価格の変動や為替の変動等により運用資産の価値が変動します。従って、本サービスは投資元本が保証されるものではなく、投資一任契約に基づきお客様からお預かりした資産の当初の評価額（投資元本）を下回ることがあります。本サービスにおける主なリスクは以下のとおりです。ご契約に当たっては契約締結前交付書面をよくご覧下さい。

#### 【相場変動リスク】

お客様が所有するポートフォリオを構成する米国上場株式は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動に伴い価格が変動します。本サービスは、その影響を受けてお客様が所有するポートフォリオの時価評価額が大きく変動し、投資元本を割り込む場合があります。

#### 【信用リスク】

お客様が所有するポートフォリオを構成する米国上場株式の発行者などの信用状況に変化が生じた場合、当該米国上場株式の市場価格が変動することによってお客様が所有するポートフォリオの時価評価額が大きく変動し、投資元本を割り込む場合があります。

#### 【流動性リスク】

米国上場株式は、市場環境の変化等により取引に支障をきたし、売却できない場合があります。本サービスはその影響を受けて換金できないリスクがあります。

#### 【カントリーリスク】

通貨を発行する国家固有の政治的・経済的な変動等により投資元本を割込んだり、途中売却が困難になる可能性があります。また、政府等による突発的な取引規制が行われた場合、円を含む他通貨への交換に影響がでる可能性があります。

【為替リスク】

本サービスにおける投資一任契約に基づき投資運用される米国上場株式は、為替相場（円貨と外貨の交換比率）が変化することにより、為替相場が円高になる過程では円貨換算した価値は下落し、逆に円安になる過程では円貨換算した価値は上昇します。したがって、お客様が所有するポートフォリオを構成する米国上場株式の日々の円貨換算の時価評価時および売却時の為替相場の状況によっては為替差損が生じるおそれがあります。本サービスは、その影響を受けてお客様が所有するポートフォリオの時価評価額が大きく変動し、投資元本を割り込む場合があります。また、本サービスにおける各種手数料等の費用の徴収に伴い為替取引を行う際に、為替相場の変動により円貨換算した費用の額は変動します。

[投資一任契約の媒介業者]



Jトラストグローバル証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第35号  
加入協会/ 日本証券業協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会

[口座管理機関]



株式会社スマートプラス  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3031号  
加入協会/ 日本証券業協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会